

第2部 北九州市の平成21年度予算

1 平成21年度予算のポイント

平成21年度予算は、景気が急速に悪化し、市税収入が過去最大の落ち込みとなるなど、非常に厳しい状況の中、重要施策の推進と財政健全化の推進を両立させる予算とすることができました。

● 重要施策の推進

i 「北九州市基本構想・基本計画」の推進

「北九州市基本構想・基本計画」に掲げる「7つの柱」に沿って予算を編成し、同構想・同計画を推進します。

- ① 人を育てる～子育て・教育日本一と創造性あふれる人材の輩出
- ② きずなを結ぶ～健康で安全・安心な暮らしの実現
- ③ 暮らしを彩る～快適な生活空間の創出と文化・スポーツの振興
- ④ いきいきと働く～競争力のある産業振興と豊かな雇用創出
- ⑤ 街を支える～都市基盤の強化と国際物流拠点の形成
- ⑥ 環境を未来に引き継ぐ～市民・企業・行政が共につくる「世界の環境首都」
- ⑦ アジアの中で成長する～アジア諸都市との交流・協力と広域連携

ii 環境モデル都市の推進

平成20年7月に国から選定を受けた「環境モデル都市」の取組みを推進するとともに、地域経済の活性化を図ります。

iii 中心市街地活性化の推進

平成20年7月に国から認定された小倉と黒崎の中心市街地活性化基本計画の取組みを推進し、まちなぎわいの創出と中心市街地の活性化を図ります。

平成21年度予算は、「北九州市基本構想」の実現を目指すスタートの予算という意味で、「未来創造元年予算」と名付けました。非常に厳しい経済財政状況ですが、私は、決して悲観することなく、この難局に立ち向かっていく決意です。



用語解説

* 14 【15ヶ月予算】 通常、1会計年度の予算は12ヶ月分として編成しますが、前年度の補正予算と合わせて実質的に15ヶ月分の予算として編成するものをいいます。今回の場合は、平成21年1月から平成22年3月までの15ヶ月分の予算となります。これによって、年間を通じて切れ目なく経済・雇用対策の予算を執行することができます。

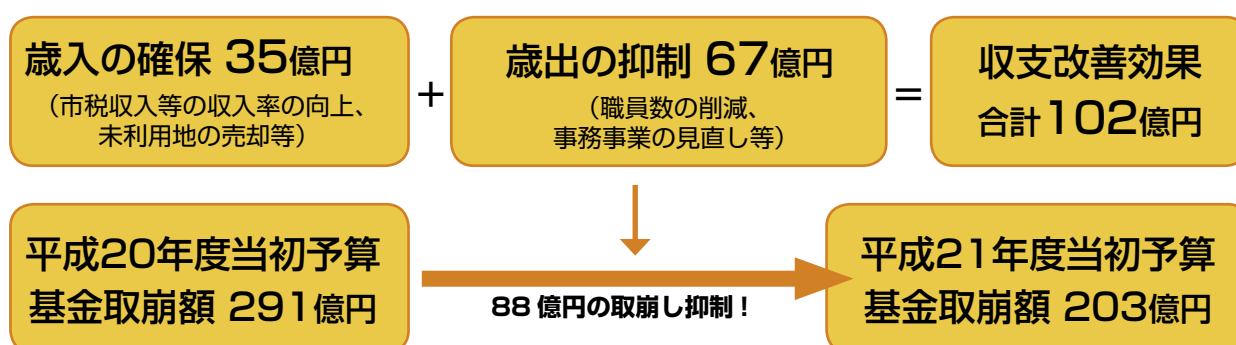
●迅速・的確な緊急経済・雇用対策の実施

100年に一度の暴風雨といわれる経済情勢の中で、北九州市緊急経済・雇用対策本部での議論を踏まえ、平成20年度12月及び2月補正予算と連動した、いわゆる15ヶ月予算^{*14}として、1,652億円の事業に取り組み、迅速・的確な緊急経済・雇用対策を実施します。

対策の柱	施策名	内容
経済対策	中小企業融資	「緊急経営安定資金」の貸付枠を拡充するとともに、緊急保証認定後の融資申込みを市内の融資取扱金融機関でも行えるよう窓口を拡大しました。
	公共事業等の実施	平成20年度12月及び2月補正予算において、国の追加対策に対応するとともに、子育て、教育、身近な道路・公園といった分野での市の単独事業を加え、公共事業を切れ目なく実施していきます。
	定額給付金事業	生活の支援と消費拡大を図る事業です。
	環境・エネルギー対策資金	環境保全に貢献する新工ネ・省エネ設備の導入・更新等を行う中小企業向けに、融資制度を新設しました。
雇用対策	緊急雇用創出事業	市の委託事業などにより失業者に対する短期雇用を創出します。
	(仮称)西部地区就業支援センター運営事業	八幡西区のメイト黒崎内に、就業支援の拠点を新たに設置します。
	スキルアップ研修事業	離職を余儀なくされた非正規労働者などを対象に、ホームヘルパー2級などの資格取得により早期の就職を目指すための研修を行います。
重点施策	環境モデル都市	環境モデル都市と中心市街地活性化に関連する事業は、本市発展の原動力となることから、早期に着手できるものは前倒しし、着実に実施します。
	中心市街地活性化	

●財政健全化の推進

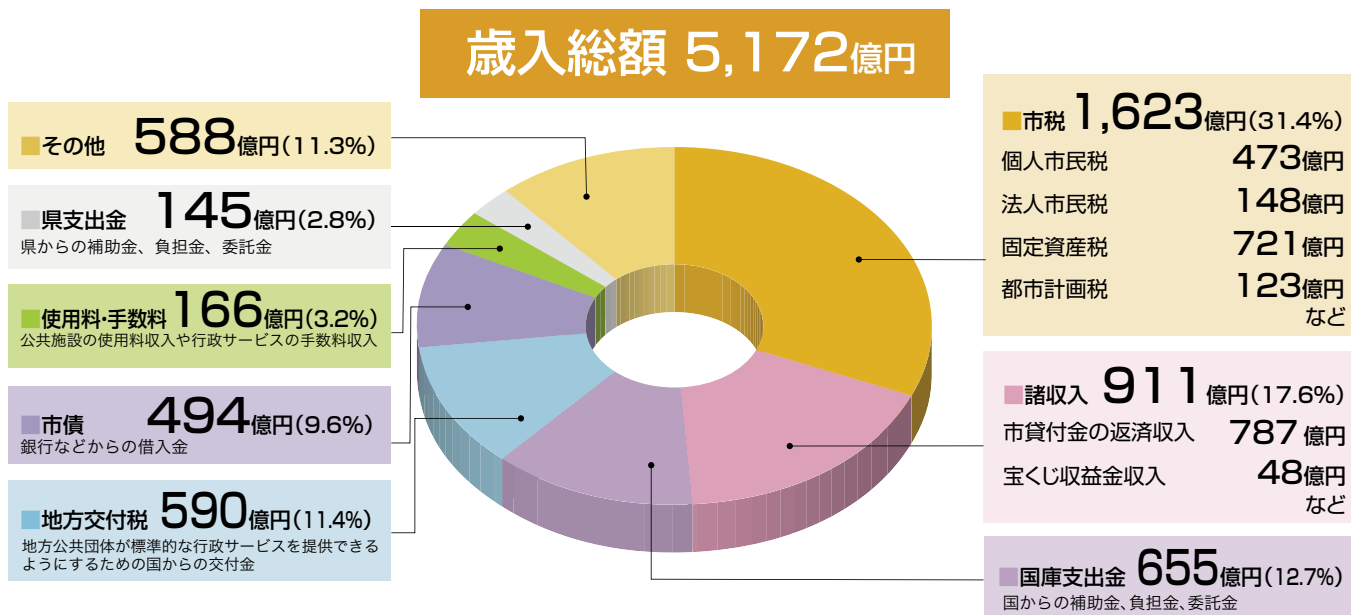
「北九州市経営プラン」における集中取組期間（平成21・22年度）の初年度となる平成21年度予算では、102億円の収支改善に取り組み、市の基金の取崩しも平成20年度当初予算と比べ88億円少ない金額に抑制します。



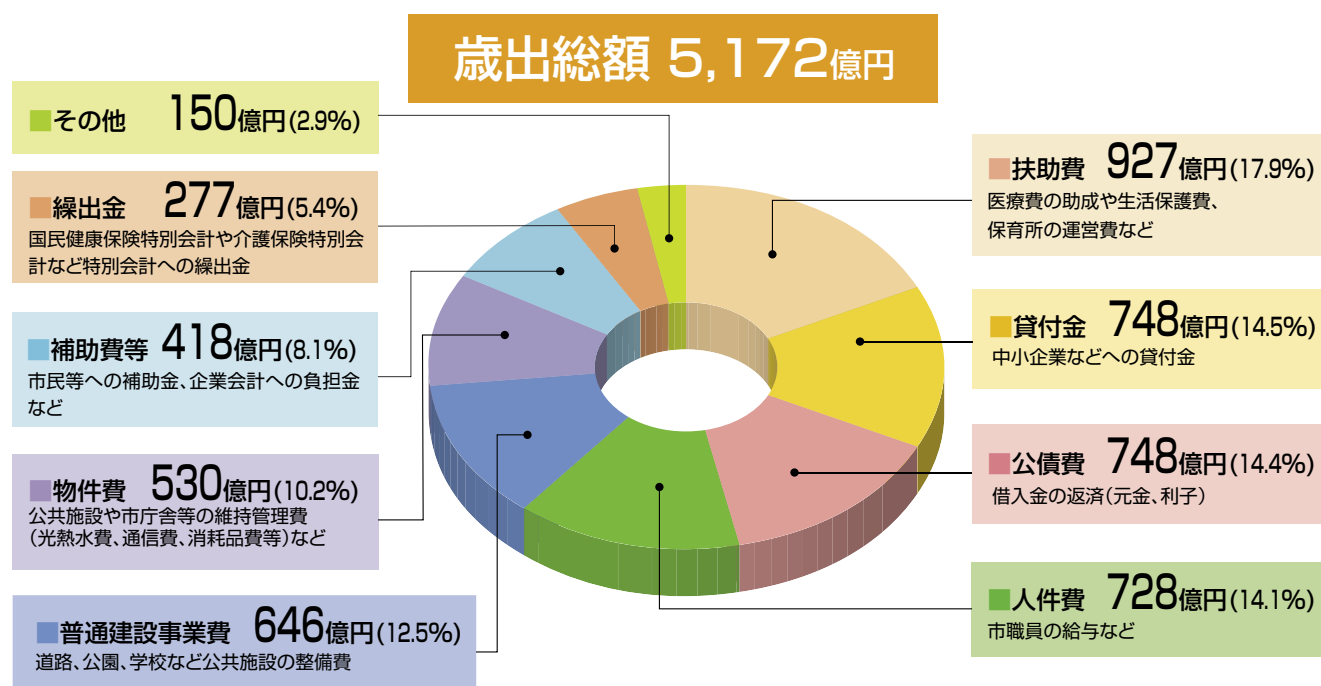
② 平成21年度予算の内訳

平成21年度当初予算の内訳は、次のようになっています。

(1) 歳入予算の内訳 (一般会計)



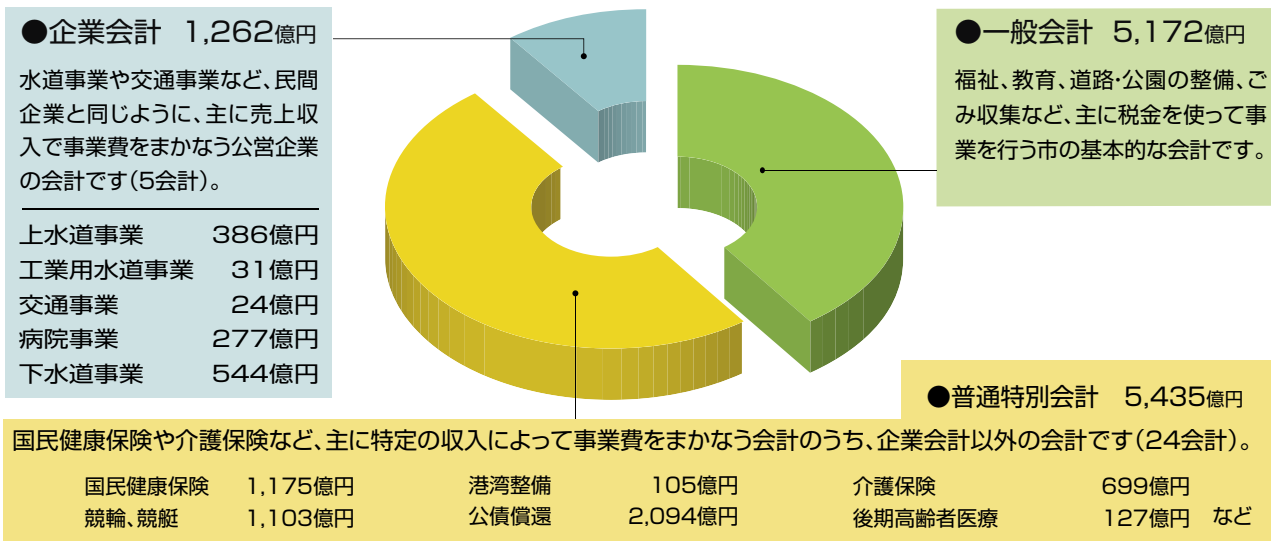
(2) 歳出予算の内訳 (一般会計)



(参考) 全会計の予算額と歳出の目的別内訳

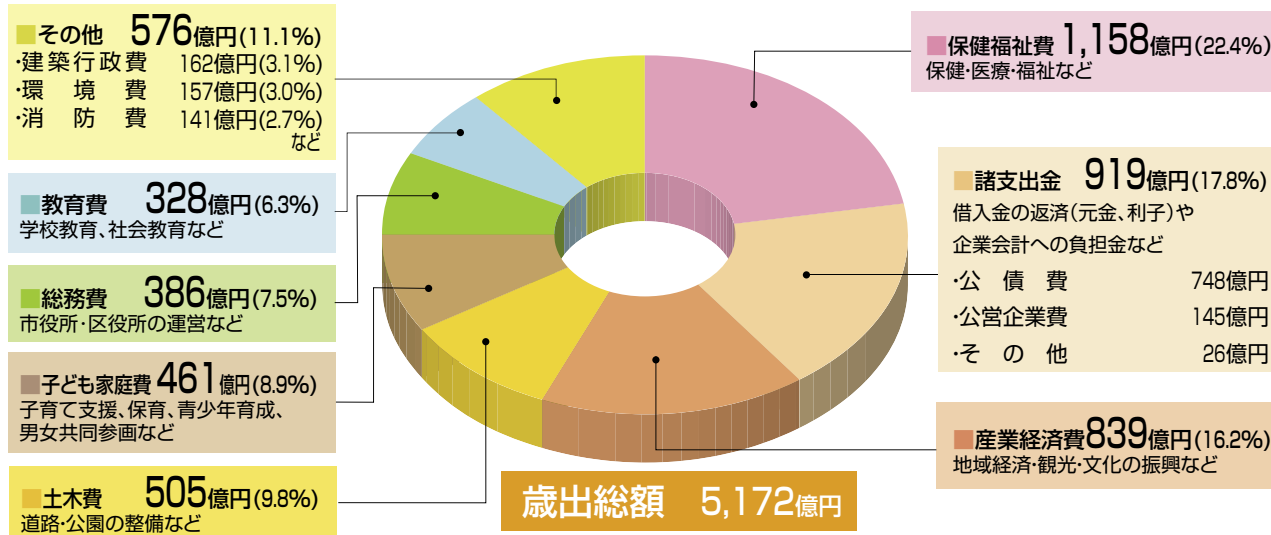
【全会計の予算額】

市の会計には一般会計のほか、普通特別会計と企業会計があり、平成21年度予算は総額で1兆1,869億円となっています。



【目的別の歳出予算】

一般会計の歳出予算を、教育費、土木費などの「行政目的」に従って分類すると次のようになります。



(参考) 北九州市の家計簿

北九州市の予算を、年間の収支500万円の家計に置き換えると、次のようになります。

収入		予算額	支出		予算額
給与		220万円	食費 (人件費)		70万円
基本給 (市税、使用料・手数料、財産収入など)		197万円	家族の医療費など (扶助費)		90万円
諸手当 (地方譲与税、県税交付金)		23万円	銀行への借入金の返済 (公債費)		72万円
銀行からの借入れ (市債)		48万円	自宅の改築、車・電化製品の買替えなど (投資的経費)		63万円
親からの助成・仕送り (国県支出金など)		79万円	光熱水費、通信費、修繕費など (物件費・維持補修費)		59万円
(地方交付税)		57万円	子どもへの助成・仕送り (繰出金・補助費など)		71万円
預金の取り崩し (繰入金)		21万円	預金 (積立金)		2万円
友人などに貸していたお金の返済金 (貸付金元利収入)		75万円	友人などに貸すお金 (貸付金)		73万円
合計		500万円	合計		500万円

(収入)

昨年に比べて給与が減りましたが、親からの仕送りが増えました。また、支出を見直すなどできるだけ預金の取崩しを抑えました。

(支出)

医療費や借金の返済額が増えた分、食費や光熱水費、電化製品の買替えなどを控えてやりくりしています。平成21年度末のローン残高は、約900万円です。

平成21年度は、「元気発進!北九州」プランを推進するため、次のような事業を行います。



● 人を育てる～子育て・教育日本一と創造性あふれる人材の輩出

人口減少と少子高齢化が進展するなか、まちづくりを支える最大の財産としての「人」を育みます。特に、子育て、教育の環境づくりに力を入れます。また、幅広い分野の人材を育成するとともに、国内外から優秀な人材が集まり、育ち、活躍できる環境を整えます。



【中学校完全給食実施事業】 …… 9億3,700万円

食育を推進する観点から、中学校で従来実施されているミルク給食を変更し、主食・副食も併せて提供する「完全給食」を実施します。

実施方式は「親子方式（近隣の小学校の給食室で調理し、保温食缶で配送する方式）」とし、平成21年度は11校で実施します。

【放課後児童健全育成事業】 …… 16億3,300万円

放課後、保護者のいない小学校低学年児童の健全育成を図る「放課後児童クラブ」を、希望するすべての児童を受け入れられるように、計画的に整備・拡充します。また、70人を超える大規模なクラブを分割するなど、より良い環境整備に努めます。



【35人以下学級実施に伴う市費講師配置事業】

…………… 5,700万円

小学校1年生及び中学校1年生で実施してきた35人以下学級を、小学校については2年生まで拡大するために必要な市費講師を配置します。

【母子健康診査】 …… 8億7,200万円

妊娠・出産における経済的負担を軽減するため、妊婦健診における公費助成を5回から14回に拡充します。



◎ ほかにも次のような事業を行います。

- | | | | |
|---------------|--------------|---------------|--------------|
| ・多様な保育サービスの拡充 | (12億9,400万円) | ・特別支援教育介助員の配置 | (1,300万円) |
| ・家庭保育員制度 | (6,100万円) | ・さわやかトイレ整備事業 | (9億4,000万円) |
| ・学力アップの推進関連事業 | (1億300万円) | ・校舎大規模改修事業 | (19億3,200万円) |

など

● きずなを結ぶ～健康で安全・安心な暮らしの実現

防災や防犯、暴力団対策、保健・医療・福祉などさまざまな分野で、安全で安心できる市民の暮らしを守る体制を整備します。また、市民同士のきずなを深め、地域で支えあうネットワークを充実強化するほか、すべての市民が自分らしく暮らせる「人権文化のまちづくり」を進めます。



【モラル・マナーアップ関連事業】…………… 3,400万円

迷惑行為のない快適な生活環境を確保するため、モラル・マナーアップ関連条例の周知・啓発や迷惑行為防止重点地区(小倉北区)における巡回活動などに取り組み、モラル・マナーの向上を図ります。また、迷惑行為の防止に自主的に取り組む地域に対し、周知・啓発活動や啓発グッズなどの物的支援を実施します。

【健康マイレージ事業】…………… 3,100万円

日ごろの健康づくりへの取組みをポイント化し、そのポイントを還元することで、健康づくりの重要性を広く普及啓発するとともに、市民の自主的かつ積極的な健康づくりへの取組みを促します。



【認知症対策関連事業】…………… 3,200万円

「認知症疾患医療センター」を有効に活用し、地域における認知症ケア体制及び医療との連携を強化します。また、「認知症になっても安心してその人らしく暮らせるまちづくり」実現のため、予防からケア、家族支援、地域づくりまで総合的かつ効果的な認知症対策を充実します。

【歯と口の健康づくりモデル事業～親子むし歯ゼロ大作戦～】600万円

子どものむし歯は、養育者の歯や口の状況と関係があることが分かっています。そこで、1歳6か月児の歯科健診と一緒に、母親等の歯科検診を行い、親子でむし歯予防に取り組み、3歳児のむし歯ゼロを目指します。



◎ ほかにも次のような事業を行います。

- ・公共工事妨害防止事業 (800万円)
 - ・ひきこもり地域支援センターの設置 (800万円)
 - ・北九州市障害者就労支援センター事業 (2,200万円)
 - ・消防ヘリコプター更新事業 (13億6,400万円)
 - ・新型インフルエンザ対策事業 (5,300万円)
 - ・市立病院の医師確保対策 (8億8,100万円)
- など

●暮らしを彩る～快適な生活空間の創出と文化・スポーツの振興

市民が快適さを享受でき、芸術・文化やスポーツをはじめ多彩な活動に親しむなど、質の高い暮らしを実感できるまちづくりを進めます。また、地域づくりやNPO・ボランティア活動を支える仕組み、地域のさまざまな主体と行政との協働によるまちづくりの仕組みを整えていきます。



【九州厚生年金会館改修事業】 …… 10億3,600万円

九州厚生年金会館を今後も末永く本市の芸術・文化の振興、コンベンション機能の充実に寄与する施設として活用できるよう、ホールのバリアフリー化、座席の改修等を行います。

【区役所窓口ワンストップサービス推進事業】

4,900万円

市民サービスの一層の向上を図るため、区役所窓口のワンストップサービス（窓口を移動することなく一箇所で複数の申請や届出などを受け付けるサービス）の実現に向けた取組みを進めます。

〈実施時期〉 小倉北区役所 平成 22 年 5 月予定
 その他の区役所 平成 23 年 5 月予定（6 区一斉）



【北九州市子どもノンフィクション文学賞】 …… 1,500万円

全国の小・中学生を対象に、ジャンルをノンフィクションとした文学賞を創設します。ノンフィクションを書く経験をとおして、子どもたちが人間や社会への関心を持ち、思考力を高めながら成長していくきっかけとします。

【(仮称)北九州市漫画ミュージアム開設準備事業】

5,000万円

松本零士氏をはじめとする地元ゆかりの漫画家とその作品を中心に、様々な漫画の魅力を幅広い世代に伝えるための漫画文化の拠点「(仮称)北九州市漫画ミュージアム」の開設に向け準備を進めます。



(仮称) 北九州市漫画ミュージアム企画展示室
 イメージ図 (松本零士企画展の場合)

◎ ほかにも次のような事業を行います。

- | | |
|------------------------------------|------------------------------|
| ・新球技場整備調査事業 (2,000万円) | ・(仮称)響灘グラウンド整備事業 (3億5,000万円) |
| ・「松永文庫」整備事業 (1,400万円) | ・地域に役立つ公園づくりの推進 (8,000万円) |
| ・大里柳市民センター・門司図書館大里分館整備事業 (1,600万円) | ・暮らしにやさしい道事業 (2億円) |
| | など |

● いきいきと働く～競争力のある産業振興と豊かな雇用創出

産業活力にあふれたまちづくりを進めるため、付加価値の高いものづくり産業や市民生活の質を高めるサービス産業を振興し、中小企業の総合力を高め、若者・女性・中高年齢者などの雇用を促進します。また、まちづくりと連動した商店街の振興、農林水産業の振興を図るとともに、新しい北九州ブランドの創造により多くの人を呼び込み、にぎわいを創出します。



北九州臨空産業団地(小倉南区)

【国際物流特区企業集積特別助成金】30億円

国際物流特区の認定を契機に創設したインセンティブにより、本市のさらなる企業立地の促進と雇用の創出・拡大を図ります。



【門司港レトロ観光列車推進事業】5,400万円

観光客の回遊性の向上や滞在の長時間化を図るため、門司港レトロ地区と和布刈地区との間の臨港鉄道を活用した観光列車を運行します。また、終着駅となる和布刈公園周辺の賑わいを創出するため、観光客が楽しく快適に過ごせる施設整備やイベントを開催します。



【松本清張生誕100年記念関連事業】… 2,800万円

本市出身の作家・松本清張の生誕100年にあたる平成21年に「清張を生んだ文化創造都市・北九州市」を全国に発信する各種記念事業を実施します。

また、全国で開催されるウォーキング大会等で、「清張生誕の地・北九州市」をアピールすることにより、本市の知名度の向上や観光客の増加を目指します。

【中小企業融資】…………… 625億3,000万円

中小企業の事業に必要な資金を融資し、経営基盤の安定・強化を支援するため、十分な融資枠を確保します。また、省エネルギー・新エネルギー設備の導入等に必要となる資金を融資する「環境・エネルギー対策資金」を創設します。



◎ ほかにも次のような事業を行います。

- | | |
|-----------------------------------|------------------------------|
| ・ブランド創造・シティプロモーション事業 (800万円) | ・環境・エネルギー分野の企業誘致推進事業 (500万円) |
| ・(仮称)ひとり親家庭の父母のための合同企業面談会 (500万円) | ・伐採竹利活用等新連携事業 (300万円) |
| ・ワーク・ライフ・バランスの推進 (2,500万円) | ・北九州港開港120周年記念事業 (2,000万円) |
- など

● 街を支える～都市基盤の強化と国際物流拠点の形成

生活に必要な施設が集積し、交通の利便性が高い拠点地区の充実を図ります。特に、小倉都心・黒崎副都心の都市機能を高め、にぎわいづくりを進めます。また、これまでに整備された都市基盤・施設の機能向上やネットワーク化を進めます。あわせて、今後、更新や補修が必要となる公共の都市基盤・施設の計画的な維持管理に努めます。



【黒崎副都心「文化・交流拠点地区」整備事業】

3,800万円

黒崎副都心「文化・交流拠点地区」において、広場・緑地、図書館、ホールなどの施設を整備します。

平成21年度は、PFI事業による民間事業者の募集、選定等を行い、事業化に向けた取組みを一段と進めます。

【折尾地区総合整備事業】 …44億6,200万円

折尾駅周辺の踏切除却、幹線道路整備、土地区画整理事業を総合的に実施することにより、渋滞解消、住環境改善、まちの一体化、回遊性の向上などを図り、折尾を魅力ある学園都市として、また、広域交通拠点として再構築します。



JR折尾駅北口広場周辺 (イメージ)



【小倉駅北口西地区の交通アクセス環境整備事業】

2億2,500万円

小倉駅を拠点とした賑わいづくりを進めている小倉駅北口西地区において、小倉記念病院の移転（新築）を契機に、来訪者の受け皿として道路網を強化するとともに、歩行者の安全・安心の確保を行い、地区全体の交通アクセス等の環境整備を進めます。

【主要幹線道路の整備】 117億8,400万円

企業誘致や競争力のある産業活動を支援するため、新若戸道路や砂津長浜線、戸畑大谷線（尾倉ランプ）、国道3号黒崎バイパスなど主要な幹線道路の整備により、物流ネットワークの構築を推進します。



戸畑大谷線（尾倉ランプ） (イメージ)

◎ ほかにこのような事業を行います。

- ・黒崎地区中心市街地賑わい再生事業 (800万円)
 - ・中心市街地の道路整備の推進 (20億6,600万円)
 - ・中心市街地共同住宅供給事業 (4,000万円)
 - ・中心市街地暮らし・にぎわい再生事業 (1億4,000万円)
 - ・市営住宅浴槽設置事業 (3億円)
 - ・市有建築物の耐震関連事業 (1億8,600万円)
- など

● 環境を未来に引き継ぐ～市民・企業・行政が共につくる「世界の環境首都」

「世界の環境首都」にふさわしいまちづくりを推進するため、市民一人ひとりが環境問題へ働きかける、いわゆる市民環境力を発揮しながら、低炭素社会や循環型社会の構築に挑戦するとともに、豊かな自然環境の保全や、魅力ある都市景観の形成に取り組み、安心して暮らせる快適なまちづくりを進めます。



【環境モデル都市環境教育推進事業】… 1,300万円

日本有数の環境教育の確立を目指し、小中学校において、環境教育の更なる推進を図り、進んで環境に働きかける実践力をもった児童、生徒の育成、環境教育副読本の作成等を行います。

【紫川エコリバー整備事業】 …… 1億円

「環境モデル都市・北九州市」のシンボルとして、市の玄関口である小倉都心部に、太陽光発電設備等を設置することで、低炭素社会の姿を市民に示し、市民自らの導入につなげるとともに、まちのにぎわいにもつなげていきます。



【太陽光発電等への補助金交付事業】… 2,800万円

家庭や事業所における地球温暖化対策を推進するため、新エネルギー、省エネルギーに係る整備費の一部を補助します。平成21年度からは国の制度と連携し、更なる太陽光発電の普及拡大を図ります。

【陸上電力供給施設整備事業】 … 2,500万円

接岸中の船舶に必要な電力を陸上から供給する施設をフェリー岸壁に導入し、船舶版アイドリングストップにより排気ガス(CO₂)の削減に取り組みます。



◎ ほかにも次のような事業を行います。

- | | |
|---------------------------------|---|
| ・環境モデル都市アクションプラン推進事業
(700万円) | ・北九州発! エコドラプロジェクト
(600万円) |
| ・カーボンオフセットモデル事業調査
(300万円) | ・低炭素先進モデル街区形成推進事業
(900万円) |
| ・次世代エネルギーパーク構想推進事業
(1,200万円) | ・市営住宅CO ₂ 削減対策モデル事業
(100万円) |
| | など |

● アジアの中で成長する～アジア諸都市との交流・協力と広域連携

長年にわたるアジアとの交流実績や地理的優位性を活かし、地域企業の国際ビジネスを振興し、国際協力や都市間の連携・交流を拡充するとともに、多様で活力ある人材や企業の集積を促進します。また、巨大なアジアの諸都市と向き合うため、福岡市や下関市、東九州地域をはじめ九州各地域などとの広域連携を推進します。



【東アジア（環黄海）経済交流推進機構推進事業】

1,100万円

環黄海圏の日中韓10都市との連携により、「ものづくり」「環境」「ロジスティクス」「観光」をテーマに経済交流活動を推進します。

【大連市友好都市提携30周年記念事業】 500万円

中国・大連市との友好都市提携30周年を記念し、代表団の相互派遣、青少年交流、文化交流などの事業を行います。



【大連チャレンジショップ開設事業】 …… 500万円

大連市に地元民間企業団体等と共同でチャレンジショップを開設し、「北九州発」の製品・技術の中国市場販路開拓を支援します。



【タコマ市・ノーフォーク市姉妹都市提携50周年記念事業】

1,200万円

米国の2つの姉妹都市との半世紀にわたる交流を記念し、代表団の相互派遣、青少年による文化・スポーツ交流などを行います。

【ベトナムとの交流・協力事業】 …… 100万円

ベトナムとの都市間連携として、平成21年4月にベトナム・ハイフォン市との交流協定の調印を行い、人材育成、国際協力、経済港湾等の分野で交流を推進します。



◎ ほかにこのような事業を行います。

- ・仁川世界都市祝典出展事業 (1,500万円)
- ・中国ビジネスサポート拠点整備事業 (7,800万円)
- ・広域連携基盤整備事業 (300万円)

・循環型社会形成協力事業（エコタウン協力）

- (100万円)
- ・環境国際ビジネス促進事業 (1,000万円)
- ・アジアの環境人材育成拠点形成事業 (400万円)
- など